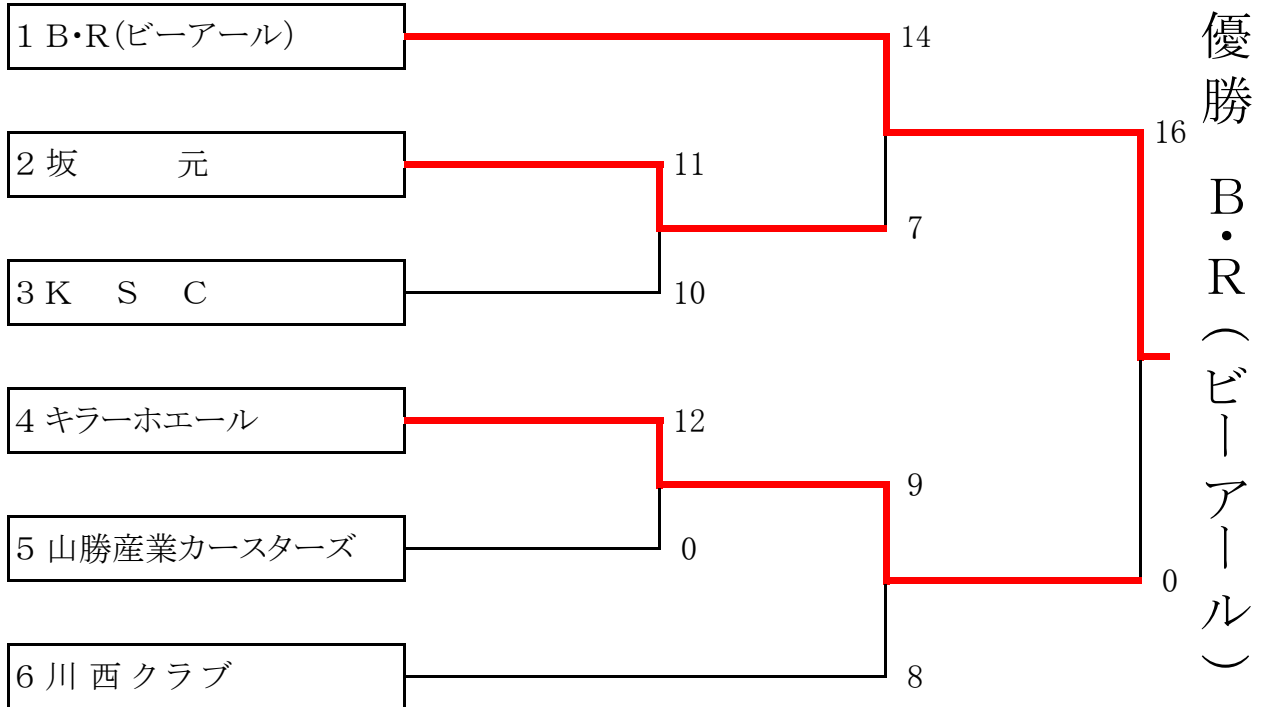


第31回県知事杯・第68回全日本総合男子加古川予選

令和4年2月13日・20日(日)

加古川両荘河川敷グラウンド

優勝 B・R(ビーアール)
 準優勝 キラーホエール
 三位 坂元
 三位 川西クラブ



1回戦	K S C	3	1	2	0	4	時間切れ	10	中井祐一 壺本将
	坂元	1	1	3	3	3		11	川島正一 川島英
1回戦	山勝産業カースターズ	0	0	0	0		4回コールド	0	笠原・藤原光一 山本・由井
	キラーホエール	7	4	1	×			12	山内飛一 宮元太
準決勝	坂元	0	0	2	3	2	5回コールド	7	大道・川島正一 川島英・村上
	B・R(ビーアール)	3	1	4	4	2×		14	山口敦一 三木希
準決勝	川西クラブ	0	1	1	6	0	時間切れ	8	黍原・難波一 森孔
	キラーホエール	0	3	3	1	2×		9	山内飛一 宮元太
代表戦	坂元	0	2	0	1	4	時間切れ	7	川島正一 川島英
	川西クラブ	1	0	0	3	0		4	黍原一 森和
決勝	B・R(ビーアール)	10	1	5			3回コールド	16	神子島健一 三木希
	キラーホエール	0	0	0				0	山内飛一 宮元太

第31回県知事杯・第68回総合男子加古川予選

(準決勝)① 試合時間1時間40分 試合日 令和4年2月13日 試合番号 3
 審判員(球審) 塚越正則 (1塁) 石井栄二 (2塁) (3塁) 金井三良
 (副審) 高橋和義 (記録) (放送)

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
坂 元	0	0	2	3	2										7
B・R(ビーアール)	3	1	4	4	2										14

先 投手 大道祐蔵・川島正敬 捕手 川島英敬・村上直弥 本塁打 木山祐輔	後 投手 山口敦生 捕手 三木希介 本塁打
攻 三塁打 大浦智也 二塁打	攻 三塁打 二塁打 臼井隆起・辻 拓海

(準決勝)② 試合時間1時間41分 試合日 令和4年2月13日 試合番号 4
 審判員(球審) 中尾文明 (1塁) 中條勝彦 (2塁) (3塁) 藤原道行
 (副審) 田中 悟 (記録) (放送)

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
川西クラブ	0	1	1	6	0										8
キラールホエール	0	3	3	1	2×										9

先 投手 黍原涼介・難波健太 捕手 森 孔明 本塁打	後 投手 山内飛鳥 捕手 宮元太晴 本塁打
攻 三塁打 二塁打 岡 智治	攻 三塁打 二塁打 小原有人・南屋孝輔

(決勝) 試合時間1時間02分 試合日 令和4年2月20日 試合番号 5
 審判員(球審) 高橋和義 (1塁) 金井三良 (2塁) 路次 隆 (3塁) 石井栄二
 (副審) 山卯泰久 (記録) 坂尻末吉 (放送)

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
B・R(ビーアール)	10	1	5												16
キラールホエール	0	0	0												0

先 投手 神子島 健 捕手 三木希介 本塁打 今井孝一・臼井隆起・森本浩行	後 投手 山内飛鳥 捕手 宮元太晴 本塁打
攻 三塁打 二塁打	攻 三塁打 二塁打

第31回県知事杯・第68回全日本総合男子加古川予選

試合日	2022年2月20日	第二日目	決勝	球場名	加古川両荘河川敷グラウンド	第2試合		
試合開始11時03分		試合終了12時35分			試合時間1時間32分		中断時間時分	
(球審)	高橋和義	(一塁)	金井三良	(二塁)	路次 隆	(三塁)	石井栄二	
(副審)	山卯泰久	記録員	坂尻末吉	記録補助	高橋和義	放送員		

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計
B・R(ビーアール)	10	1	5					3回コールド							16
キラールホエール	0	0	0												0

チーム名	投 手	捕 手
B・R(ビーアール)	神子島 健	三木希介
キラールホエール	山内飛鳥	宮元太晴

勝利・敗戦投手	チーム名	打数	安打	犠打	四球	死球	三振	盗塁	失策	
勝	神子島 健	B・R(ビーアール)	24	14	2	3	0	1	0	0
負	山内飛鳥	キラールホエール	9	1	0	2	0	4	0	5

チーム名	長打(本塁打・三塁打・二塁打)
B・R(ビーアール)	(本塁打)今井孝一・臼井隆起・森本浩行(二塁打)多田佳樹・臼井隆起
キラールホエール	

(戦評) B・R(ビーアール)猛打で圧勝

B・R(ビーアール)は初回先頭打者を失策で二塁に進め今井選手の本塁打から四球・犠打・相手守備陣の乱れ等から長短7本を集めて大量10点を挙げ試合を決めてしまった。B・R(ビーアール)は2回にも1点、3回には臼井選手と森本選手の本塁打等でさらに5点を加えて大量16点を挙げて3回コールドで圧勝した。